

3 常任委員会が合同で現地調査 新道の駅おとふけ建設現場

令和3年11月1日、音更町議会は常任委員会合同調査を実施した。このほど愛称も「な

つぞらのふる里」と決まり、音更町の新たな魅力発信エリアとして、町内外の人々の交流促進のために、道の駅をオープンする。ここでは、合同調査に参加した議員の感想と魅力を紹介します。



愛称は「なつぞらのふる里」(4月15日オープン予定)

○音更町の「美味しい」「ワクワク感」がギョッと凝縮された新しい道の駅です。休憩所やトイレにはやさし

い配慮もされており、子どもから大人まで安心してご利用いただけると思います。

○ここは、食と体験を基に人々が賑わい、交流をする拠点施設で最大の特徴は「なつぞらの再現。木材は音更町から切り出されたカラマツ。また、子どもたちの遊び場も充実

議員からは、期待を寄せる様々な声が聞かれた。音更町は令和2年7月にも、「ガーンズパ十勝川温泉」が道の駅に登録され、賑わいを見せている。音更町には魅力ある観光資源がたくさんあり、これからも最大限に活かし更なる町の発展を目指していきたい。



美しいメロディーを町民へ(文化センター野外フェス)

編集後記

令和3年11月に上富良野町議会の広報委員6名が行政視察で来訪し、私たち委員会も6名の委員と意見交換をしました。

以前にも、浦河町議会が来訪されたり、私たちが栗山町議会へ伺ったりして、お互い勉強させていただき、議会の内容をより良く町民に発信できるように、情報交換をしています。色々新しい発見もあり、お互いの共通の問題点も分かり、有意義な時間を共有しました。

他にも4年に一度札幌市で行われる全道町村議会の広報担当者が集まる研修会に参加したり、新聞社や広報誌の発行元にお話を聞きに伺ったりしながら、これからも議会の情報をより身近に感じていただくために、提供していきたいと思えます。

編集委員 堀江美夫